

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 地理歴史科 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1組：沢田 ）（2組：沢田 ）（3組：沢田 ）（4組：沢田 ）（5組：沢田 ）（6組：沢田 ）

使用教科書：（わたしたちの地理総合（二宮書店）、標準高等地図（帝国書院））

教科 地理歴史科

の目標：

【知識及び技能】

地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	各種地図 【知】 ・各図法の特徴を理解し活用できる。 ・国家の領域と領土問題を理解する。 ・日本と世界の関係を理解する。 【思】 ・方位位置距離を読み取れる。 ・領域に関する考察ができる。 ・統計データを読み取れる。 【態】 ・時差の影響を考察できる。 ・領土問題を考察できる。 ・地球規模の課題について考察できる。	図法・時差 国家の領域・領土問題 統計データ読み取り 教科書、地図帳、資料集、 プリント、Google Earth	【知】 ・球面上の位置方位距離を正確に認識し各図法の特徴を理解している。 ・国家の領域と領土問題を理解している。 ・日本と世界の結びつきを理解している。 【思】 ・球面上の方位位置距離を読み取れる。 ・領域に関する問題を考察しまとめることができる。 ・国際関係を整理・考察できる。 【態】 ・時差が与える影響を考察しようとしている。 ・日本の領土的課題を考察しようとしている。 ・地球規模の課題について考察しようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	地形図 【知】 ・地形図を読み取れる。 ・地形に関する事象を理解する。 【思】 ・目的に応じて地図を活用できる。 ・地形の成因と分布を理解できる。 【態】 ・電子地形図を活用できる。 ・疑問点を発見できる。	地形図 大地形・小地形 教科書、地図帳、資料集、 プリント、地理院地図	【知】 ・地形図に関する知識を身に付け読み取り活用できる。 ・世界的な視野から地形に関する事象を読み取れる。 【思】 ・使用目的に応じて地図を利用している。 ・他の要素と関連づけながら地形の成因と分布を考察できる。 【態】 ・自ら課題を設定して電子地形図を使おうとしている。 ・自分なりの考察をし疑問を発見しようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学期	地形と防災 【知】 ・日本の地形について理解する。 ・地域の防災について資料から読み取れる。 【思】 ・災害の原因と特徴を考察できる。 ・地域の防災に対処法を考察できる。 【態】 ・防災に対する当事者意識を抱ける。 ・被災時の具体的な行動を考えることができる。	日本と東京の地形 防災・GIS 教科書、地図帳、資料集、 プリント、地理院地図	【知】 ・日本の地形について資料から理解できる。 ・生活圏の防災について地形図やハザードマップから読み取れる。 【思】 ・日本の災害の要因と特徴を考察し課題について考察できる。 ・生活圏の防災について具体的な課題と避難行動を構想できる。 【態】 ・当事者意識を持った防災意識を高めようとしている。 ・自助共助公助の観点から具体的な行動を構想しようとしている。	○	○	○	14
	宗教 【知】 ・宗教の各特徴を理解できる。 【思】 ・宗教の分布と要因を自然歴史等と関連付けられる。 【態】 ・宗教の課題を考察できる。	宗教 教科書、ロイロノート	【知】 ・世界の宗教の特徴を理解し資料から読み取れる。 【思】 ・世界の宗教の分布と要因を考察し自然や歴史と関連させて考察している。 【態】 ・宗教に関わる課題について考察し意見をまとめようとしている。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	気候と農業・工業 【知】 ・気候と生活の関連を理解できる。 ・産業の特徴と分布・変化を理解できる。 【思】 ・気候分布の特徴、生活との関連を考察できる。 ・地域産業を比較し生活との関連を考察できる。 【態】 ・データの作成ができる。 ・各種資料から産業について考察できる。	気候 農業・工業 教科書、地図帳、資料集、 プリント、Google Earth	【知】 ・気候と人間生活が密接に関連していることを理解している。 ・世界の産業の特徴を捉え分布や変化を概観することができる。 【思】 ・気候分布の規則性をとらえ、生活文化との関連性共通点相違点を考察整理表現できる。 ・世界の産業の特徴を地域ごとに比較し自然環境や生活文化との関連性を考察している。 【態】 ・雨温図やグラフなどを読み取るだけでなく表現しようとしている。 ・複雑化する産業構造を複数の資料から考察しようとしている。	○	○	○	14
定期考査			○	○		1	
	中国・東南アジアの工業 【知】 ・産業の特徴と背景を理解できる。 【思】 ・経済活動の発展と変容を捉えられる。 【態】 ・身近な商品の世界規模の産業構造と結び付けられる。	中国・東南アジアの工業 教科書、地図帳、資料集 ロイロノート	【知】 ・産業の特徴を捉え、変化を概観できる 【思】 ・経済活動の発展を資料からとらえ多角的に考察できる。 【態】 ・複雑化する産業構造を複数の資料から主体的に考察している。	○	○	○	5

3 学期	世界の諸問題 【知】 ・各種資料から問題の分布や要因を理解できる。 【思】 ・各種資料から各問題の構造的な対策を考察できる。 【態】 ・問題と日本の関わりに対して自分の意見を持つ。	地球的課題 教科書、ロイロノート	【知】 ・各種資料から各問題の分布や要因を理解できる。 【思】 ・各種資料から各問題の構造的な対策を考察し説明できる。 【態】 ・各問題と日本との関係を踏まえつつ自分なりの意見を持つことができる。	○	○	○	8
	学年末考査			○	○		合計 70